

ミラノ (Milano)

ミラノ市街には、何度も行って、いろいろなところを見て回っていますが、一度もその報告はしていません。ミラノに住んでいるのですから当然なのかもしれませんが、やはり、一度報告をして記録に残したいと考えました。金曜日に、日本に戻る前にもう一度ミラノを見ておこうと思って、出かけましたので報告します。

いつもはドゥオモ駅で地下鉄を降りるのですが、この日はモンテナポレオーネ駅で地下鉄を降りて、モンテナポレオーネ通りを歩き、いつも通らない裏道をスカラ座広場に向かいました。朝のモンテナポレオーネ通りは、観光客もミラネーゼもほとんどいません。まだ、開いていない店もあります。ドゥオモの見えないミラノの街は新鮮さも感じました。いつもはたくさんの観光客が一休みしているスカラ座広場も朝の時間はほとんど見かけません。



今日の一つの目的でもあるスカラ座博物館に入りました。オペラを見たときにはスカラ座に入っていますが、博物館は初めてです。生憎、中は撮影禁止ですが、イタリア人観光客は気にせず写真を撮っています。この日は、ボックス席から劇場内も見ることが出来ました。ヴェルディやマリア・カラスの肖像画、アイダの1925年公演のポスター等、イタリアに来てから覚えたオペラ関連の知識を發揮する場として、自己満足の世界でした。



ガレリアを通りドゥオモ広場に出ましたが、ドゥオモは最後にするので、素通りしてマジェンタ大通りにあるサン・マウリッツォ教会が次の目的地です。この教会の評判は聞いていたのですが、中に入

るのは初めてです。ちょうど英語のガイド付きツアーがいたので、その後をつけて奥の部屋まで入りました。入口の教会も奥の部屋もフレスコ画で覆われています。こんなに凄いとは思いませんでした。特に、ノアの箱舟のフレスコ画は見事です。最後に滑り込みで見られて、また、ミラノを見直しました。



隣の考古学博物館は午後 2 時から無料になるので、朝の時間は素通りです。ちょうど 12 時になったので、マジェンタ通りの名物パニーニ店、ダ・サンティスに入り、ローストビーフのパニーニを久しぶりに食べました。やはり、このパニーニは最高です。ちょっと、値段は高いのですが、肉は上質、野菜とチーズはたっぷり、それに、自家製のソースがよい味を出しています。リナシャンテにも店が出ています（そう言えば、パレルモのリナシャンテにも店が出ていました）が、やはり、味はマジェンタ通りの本店が一番だと自分だけで思っています。腹ごしらえが済むと、今度は、サンタ・マリア・デッラ・グラッツェ教会に行ってみました。このルネッサンス建築の教会の外観が好きです。冷やかし半分で「最後の晚餐」のキャンセルがあるかどうか聞いてみましたが、今の時期は、ネットか電話予約以外は受け付けないと言われました。



この教会から南に下りていくと、直ぐに、ダ・ヴィンチ科学博物館に出ます。そこを東方向に少し行くとサントアンジェロ教会があります。サンタ・マリア・デッラ・グラッツェ教会とは正反対の質素なロマネスク建築も捨て難い。ここも好きな教会の一つです。初めて気がついたのですが、教会の横にローマ時代の石柱が 1 本だけあるのです。

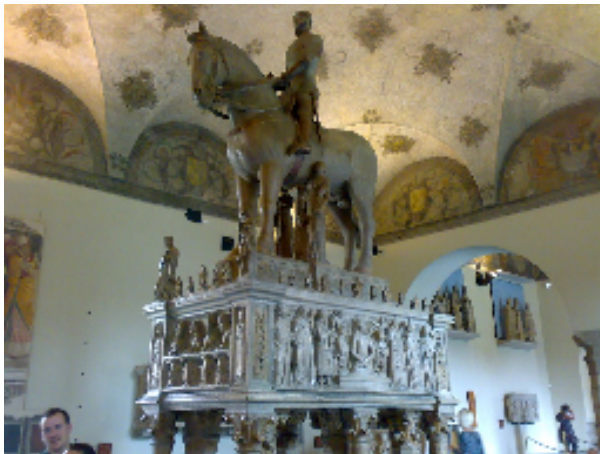


サントジャンジェロ教会からスフォルツェスコ城を素通りして、今度はブレラ界隈を散策しました。ブレラ博物館の内装の工事が終わってきれいになっていました。この界隈もよく来た思い出の街並です。レストランやカフェが多く、相変わらず観光客で賑わっています。



午後 2 時近くにスフォルツェスコ城へ。まずセンピオーネ公園に出ると平和の門も工事が終わってその全容を始めて見ることが出来ました。金曜日の 2 時からスフォルツェスコ城は入場無料です。久しぶりに博物館に入りましたがここのコレクションは本当に見事です。天井のフレスコ画も素晴らしい上にミケランジェロの最後の作品ロンダニーニのピエタもあります。ダ・ヴィンチの部屋では、偶然にも日本人のツアーに前後を挟まれて、日本語の説明まで聞けました。





この博物館には、2,3,4階にも展示物があるのを始めて知りました。ロンダニーニのピエタを見て、満足して帰ってしまったのでは行けなかったのです。2階には、昔の貴族の高級家具と絵画博物館、3階にはクレモナ顔負けの楽器博物館、4階は陶器の博物館となっています。そして、城の城壁の高いところに出られて、そこからミラノの街と観光客のうごめく城内を見ることが出来ます。このスフォルツェスコ城博物館を真剣に全部見ると半日では足りないかもしれません。でも、飽きっぽいので、2時間に出てきてしまいました。



続けて、考古学博物館です。もちろん、ここも無料です。この博物館は、1年半以上前にも来ていますが、ミラノに対する興味はここから始まったと行っても過言ではありません。小さな博物館ですが、

内容は充実していて刺激的です。ローマ時代初頭のミラノと 4 世紀初頭に西ローマ帝国の首都であった頃のミラノがここに来ると良くわかります。ここを基点にローマ時代の痕跡を訪ね歩いたのは、もう、1 年半前です。この博物館の近くでは、今でも、ローマ時代の遺跡の発掘が続いているのです。また、この博物館の庭にもローマ時代の 2 本の塔が残されています。そのうち一つは、その内部に 11 世紀のフレスコ画を見ることも出来ます。



今度は、トリノ通りの先にあるサン・ロレンツォ教会です。この教会も大好きでした。正面にあるローマ時代の石の列柱も素晴らしいのですが、裏の公園から見るこの教会がとても気に入っていました。公園のベンチに座って本を読みながらこの教会を見ていると時間のたつのも忘れてしまいます。



最後はやはりドゥオモ広場です。ドゥオモとガレリアが面しているこの広場の華やかさはいつも素晴らしいと感じました。ドゥオモもガレリアもミラノの象徴です。その 2 つがあるのですから悪いわけがありません。ミラノのドゥオモは外観も内装も、それに加えて、その存在感と聖堂内の雰囲気も、世界中の教会の中で一番です。私の中では、ローマのサン・ピエトロ大聖堂でもミラノのドゥオモの足元にも及びません。この日のような真夏の青空の下のドゥオモも素晴らしいのですが、雪の中のドゥオモやクリスマスの中のドゥオモも忘れられません。また、いつも観光客で溢れているドゥオモの聖堂内も、そこにいといつの間にか周りの観光客が気にならなくなってしまいます。これも、ミラノのドゥオモだからこそだと思います。この 1 年 10 ヶ月の間、最後までドゥオモを見飽きることはありませんでした。最後に、ミラノ赴任中に、日本でもミラノでも何事もなく過すことが出来たことをドゥオモに感謝してきました。



ミラノにはまた来る機会があると思いますが、気に入ったところを一巡して、暫しのお別れの挨拶をしてきました。久しぶりに、1日中、ミラノ市街を歩いたのですが、やはり、ミラノは良い街です。いろいろなところを見てきた後だけに、尚更、その気持ちが大きくなってしまいました。多分に、鼻真目に見ているような気がしないでもないですが。仕方ないですね。

ミラノに関しては、当然、行きかたも何もありません。残り短いミラノ生活の合間をみつけて、もう一度見たかったと思っているところだけ、行って来たらどうでしょうか。